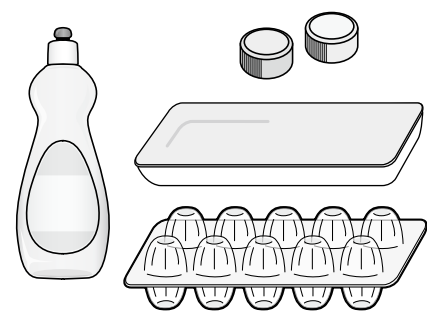




食品の袋や各種トレイ、キャップ類やネット類、ボトル容器、緩衝材など、ほかにも様々な容プラがあります。



容プラ以外のものがないかを手作業で選別するリサイクルセンターの皆さん

10月から可燃ごみ（一般ごみ）について小松市指定ごみダイエット袋が導入されます。導入前に再確認をお願いしたいのが、毎週1回可燃ごみと同じ日に出される容器包装プラスチック（以下「容プラ」）です。

容プラとは、食品や製品が入っている容器や包装物でプラスチック製のもの指します。回収された容プラはプラスチック製品などに生まれ変わり、ごみの減量につながります。

容器包装プラスチックについて

適切な容プラの分別を

容プラは、汚れたもの、容プラ以外のごみが混ざっているもの、中が見えない袋で出されている場合などは、容プラではなく可燃ごみとして処理されます。

家庭で出すときは、まずプラマークを確認してください。そして、ひと洗いをしても汚れが落ちないものは可燃ごみとして出してください。今一度、容プラの出し方の確認と分別の徹底にご協力をお願いします。

○ 容プラの正しい出し方



中が見える袋

45リットルまでの透明・半透明の袋に入れましょう。



さっとひと洗い・水切り

汚れはさっとひと洗い、しっかり水を切りましょう。



「プラマーク」の確認

「プラマーク」を目印に分別してください。

× 容プラではなく可燃ごみへ



プラスチック製品は「可燃ごみ」

◀ プラマークがあっても中身が残っていたり、汚れが取れないもの

× 容プラの誤った出し方



中が見えない袋や二重袋（容プラが入った袋を更に袋に入れたもの）

ごみダイエット
50%OFF!
スマートリサイクル
33%



10月からスタート!

可燃ごみ専用・小松市指定ごみダイエット袋

問い合わせ

エコロジー推進課

☎24・8069

再チェック! 容器包装プラスチック



高齢者の暮らしにやさしい 地域づくりの輪が広がっています

厚生労働省の推計によると、2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、全国で約38万人の介護職員が不足すると懸念されています。市では、介護に頼らない生活づくりを応援するため、閉じこもりの防止や介護予防に力を入れて取り組んでいます。



若杉町ミニデイ 「カフェ杉」



ミニデイは、地域住民によって運営されている高齢者のための集いの場です。若杉町公民館では、65歳～77歳の住民ボランティアの皆さんがスタッフとして運営に携わり、これまでの仕事や趣味の経験を生かしてお手伝いをしている人もいます。

これからは専門職員だけに頼らず、ご近所同士でお互いに目を配り、声を掛け合っていくことがますます大切になります。「何か自分にできることはないかな」と感じている方、地域サポートのお手伝いをしてみませんか。



カフェ杉チーフリーダー
小坂花子さん(若杉町)

顔なじみの方がいてくれる安心感

毎週金曜日は必ずミニデイに参加し、いつも楽しく過ごしています。地域の仲間と気軽にいろんな話ができる場所があるのはうれしい限りです。

自分のできる範囲でお手伝い

17人の仲間と協力してミニデイを運営しています。参加者の笑顔が自分のやりがいにつながっています。



鰐謙二郎さん(若杉町)

ミニデイのほか、高齢者の日常生活での困りごと（掃除、買い物、ごみ出しなど）を地域のボランティアがお手伝いするサービスもあります。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ 長寿介護課 ☎24・8053 小松市社会福祉協議会 ☎22・3354